



統計数理研究所リスク解析戦略研究センターシンポジウム

「医学アカデミアでの生物統計家の貢献：現状と課題」

主催：統計数理研究所リスク解析戦略研究センター

日時：2011年2月17日（木）シンポジウム 13:00-18:00

場所：東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 27F

京都大学東京オフィス第 2-3 会議室

開会の挨拶：本シンポジウムの趣旨 松井茂之（統計数理研究所） 13:00-13:15

各研究機関からの報告 13:15-16:45

No	研究機関	発表者	発表時間 (持ち時間一人 15分)
1	北海道大学	伊藤陽一	13:15-13:30
2	東北大学	山口拓洋	13:30-13:45
3	慶應義塾大学	阿部貴行	13:45-14:00
4	北里大学	道前洋史	14:00-14:15
休憩			14:15-14:30
5	千葉大学	佐藤泰憲	14:30-14:45
6	横浜市立大学	森田智視	14:45-15:00
7	京都大学	手良向聡	15:00-15:15
8	九州大学	岸本淳司	15:15-15:30
9	(財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター	松原義弘	15:30-15:45
休憩			15:45-16:00
10	国立精神・神経医療研究センター	米本直裕	16:00-16:15
11	国立循環器病研究センター	嘉田晃子	16:15-16:30
12	国立がん研究センター	柴田大朗	16:30-16:45

総合討論 16:50-17:50

特別発言 「医学アカデミアにおける生物統計家の役割と責任」

福島雅典 先生

(財団法人 先端医療振興財団臨床研究情報センター長、京都大学名誉教授)

閉会の挨拶 椿 広計（統計数理研究所） 17:50-18:00